

# 平成 29 年度 社会福祉法人カルスト会 事業報告

社会福祉法人の制度改革が行われ、議決機関として評議員会が必置とされるとともに、役員報酬基準の作成と公表、社会福祉充実計画の作成など運営体制の強化等が図られ、当法人においても定款の変更を行い、定めた方法により、新役員の選任等体制を整えた。

法人経営面では、みどりの家の入所は75人を超えることは無く、短期入所の方1名が固定化してはいたが、今後このままで推移するようなら職員配置について考えなくてはならない状況にある。

特養ふじの家の待機者は少ないながら安定しており、利用定員を割る状況にはなかった。居宅介護支援事業所においては近年赤字続きだったが、利用者増で当初予算に反して余剰金が発生する状況となった。

複合福祉施設が30年度に開所することで、特に通所事業においては認可からの期間が短く、利用者に支障をきたさないよう、関係機関との調整に細心の注意を払い4月からの利用に繋げた。

今年度で廃止するデイサービスセンターは、10月には利用者の増加が見込まれた為利用料収入予算の補正を行ったが、冬場になり大幅に利用者が減少した。しかし、通年の利用者は当初見込んでいた状況に回復することができた。

社会福祉充実計画については、所轄庁である障害保健福祉課に、法人として算出した残額の使途について、会計処理等の運用上の取り扱い等を確認に出向いた。県の段階では回答が得られない内容もあったが、6月に承認申請を提出した。

県より9月に通知書が届き、その後補正予算を計上して、職員の処遇改善、特養のベッド購入、エコ給湯設備、空調機器更新など計画に沿った事業を行なった。

特養の太陽光発電、蓄電池、小水力発電設備、照明LED化、エコ給湯、空調機器等の更新は、環境省の補助事業で、二期にわたる工事は工期内に無事完了し、会計処理も年度末で精算することができた。

労務管理の面では、平成25年4月に施行された労働契約法の改正によって、施行日以降有期労働契約を更新した該当する臨時職員に対し、申し出により期間の定めのない労働契約に転換できることを周知し、全員が無期労働契約への転換を申し出た。

また、デイサービスセンター栲原ふじの家で勤務していた臨時職員は、廃止後も法人事業所において継続して雇用することとなった。

今年度の退職者は4名おりうち1名は依願退職者、定年退職者3名のうち2名は継続雇用で勤務する事となった。廃止した事業所の職員異動によって介護職員の確保はできているが、看護師が年末より長期休職しており、有資格者の臨時介護職員を看護師として採用することで人員の確保はできたが、退職後嘱託職員で5年間勤務した看護師が契約期間満了となり、その補充はできず、職安に求人広告は出しているが、今後も看護師の確保には一層努力しなくてはならない。

新規正職員の採用については、臨時職員から介護員2名、看護師1名を採用した。

新たな制度でのスタートであり、また中間施設の検討、デイサービスセンターの廃止など大きな課題の多い年だったが、役職員一丸となって解決に向けて取り組んだ。

# 1. 組 織

## 1) 理事名簿

平成30年3月31日現在

	役 職	氏 名	住 所	職業等	就任年月日
1	理 事 長	中 越 平	梶原町川西路 2282-1	団 体 役 員	H12. 3. 23
2	理 事	空 岡 則 明	梶原町六丁 140	会 社 役 員	H23. 4. 1
3	〃	岡 田 量	梶原町川西路 2357-7	無 職	H27. 4. 1
4	〃	岩 崎 悦 子	梶原町初瀬本村 112	職 員	H29. 4. 1
5	〃	熊 岡 健	梶原町永野 290	職 員	〃
6	〃	二 宮 佳 奈	梶原町梶原 1197-4	職 員	〃

理事異動 退任 松山栄喜 平成29年3月31日  
 退任 西村正義 平成29年3月31日  
 退任 西川豊正 平成29年3月31日

## 2) 評議員名簿

平成30年3月31日現在

	氏 名	住 所	職業等	就任年月日
1	矢 野 敬 明	梶原町上折渡 128	農 林 業	H29. 11. 8
2	西 村 正 義	梶原町仲洞 4884	建 築 業	H29. 4. 1
3	松 山 栄 喜	梶原町大向 305	農 林 業	〃
4	中 越 計 清	梶原町川井 7206	〃	H28. 5. 25
5	宮 本 友 和	梶原町梶原 1325-1	自 営 業	H27. 4. 1
6	神 明 靖	梶原町東川 123	会 社 員	H24. 12. 1
7	沖 田 佳 久	梶原町川口 5963	自 営 業	H29. 4. 1

評議員異動 退任 中越 薫・川上光章 平成29年3月31日  
 退任 西村建雄・矢野敬明 平成29年3月31日  
 退任 久岡國雄・田邊盛之 平成29年3月31日  
 退任 池田幹彦・中越大善 平成29年3月31日  
 退任 中越郁子・高橋勝也 平成29年3月31日  
 就任 西川豊正・西村正義 平成29年4月1日  
 就任 松山栄喜・沖田佳久 平成29年4月1日  
 退任 西川豊正 平成29年10月31日  
 就任 矢野敬明 平成29年11月8日

## 3) 監事名簿

平成30年3月31日現在

	氏 名	住 所	職業等	就任年月日
1	山 口 敏	梶原町文丸 648	農 林 業	H24. 4. 1
2	矢 野 豪 佑	梶原町上折渡 137	団 体 役 員	H25. 4. 1

## 4) 職員構成

平成 30 年 3 月 31 日現在

職名 施設名等	事務局長	所属長	事務員	支援専門員	サービス管理責任者	相談員	機能訓練指導員 ・機能訓練員	栄養士	看護師	介護員	計
本 部	1		2								3
居 宅 介 護 支 援 事 業 所		兼		2							2
梶 原 みどりの家		1			2		1	1	4 (ハ°ト1)	45 (臨時10) (ハ°ト6)	54 (臨時10) (ハ°ト7)
特 定 相 談 支 援 事 業 所		兼		1							1
特養 梶原ふじの家		1		2		1 (嘱1)	1	1	6 (嘱1)	45 (臨時7) (ハ°ト9)	57 (嘱2) (臨時7) (ハ°ト9)
デイサービス センター		1				1			1 (臨時1)	5 (臨時1) (ハ°ト2)	8 (臨時2) (ハ°ト2)
合 計	1	3	2	5	2	2 (嘱1)	2	2	11 (嘱1) (臨時1) (ハ°ト1)	95 (臨時18) (ハ°ト17)	125 (嘱2) (臨時19) (ハ°ト18)

## 2. 理事会・評議員会・監査・評議員選任解任委員会

(1) 理事会開催 8 回 開催を省略した決議 3 回 評議委員会開催 2 回  
評議員選任解任委員会 1 回

## (2) 監 査

## ①内部監査

法人監事による決算監査及び3ヶ月に1回の内部監査を実施して、法人の健全な経営に努めた。(年間4回実施)

監査実施日：平成29年 5月22日、平成29年7月20日

平成29年10月23日、平成30年1月25日

## ②高知県地域福祉部福祉指導課による監査

## ◆ 居宅介護支援事業所

(介護保険法第24条に基づき実地指導)

実地指導日：平成29年7月11日

介護指導担当 主幹 山中昭典 主事 溝渕夕騎

指 導 結 果：平成29年8月24日

「特に指導する事項認められず」

- ◆ 特別養護老人ホーム栲原ふじの家  
(老人福祉法第18条第2項に基づき書面監査)  
提出期限：平成30年2月2日  
書面監査結果：平成30年3月27日  
「改善の必要があると認められる事項なし」

# 平成 29 年度 カルスト会居宅介護支援事業所 事業報告

今年度は施設入所の方が昨年度の 26 名から 14 名に減少し、新規利用者については 35 名と穏やかではあるが増加した。

施設入所者の減少と、新規利用者の増加もあり、月平均請求件数については昨年の 70 件から 10 件増加し、80 件を若干超える実績となった。

介護度の内訳としては、昨年度と同じく要介護 1、2 及び 3 の方が中心で、4、5 の重度者が少ない状況が続いている。

在宅での看取り介護やターミナルケアを希望される方が 6 名おり、梶原病院をはじめ各事業所との連携を密にして、できるだけ本人や家族の希望に添えるよう対応した。

2 月以降は複合福祉施設の開所を 4 月に控え、ケアハウスへ入所を申込される方への説明や、入所申請用意見書の作成、デイサービスの全面移行によるケアプランの作成など慌ただしい年となった。

## 要介護度別利用状況

サービス種別ケアプラン作成状況（延べ人数）

単位：人

	要支援		要介護度					計
	1	2	1	2	3	4	5	
ふじの家デイサービス	8	5	145	198	146	46	19	567
他法人デイサービス/デイケア			12					12
訪問介護			81	36	60	8	16	201
訪問看護				7		14	3	24
訪問リハビリテーション					6	11		17
福祉用具貸与	8	6	46	122	130	65	51	428
特養ふじの家短期入所			52	83	88	48	15	286

要介護度別ケアプラン作成状況（実人数）

	要支援 1	計	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	合計
4 月	1	1	27	23	17	4	5	76	77
5 月	1	1	28	24	16	3	6	77	78
6 月	1	1	30	22	18	3	5	78	79
7 月	1	1	32	23	19	4	4	82	83
8 月	1	1	33	24	20	4	4	85	86
9 月	1	1	36	24	18	3	5	86	87
10 月	1	1	35	22	19	3	6	85	86
11 月	1	1	35	23	19	3	5	85	86

12月	1	1	33	24	19	3	3	82	83
1月	1	1	28	21	18	4	3	74	75
2月	1	1	25	23	17	4	3	72	73
3月	1	1	22	27	17	5	3	74	75
平均	1	1	31.7	23.3	18.1	3.6	4.3	79.7	80.7

平成 28 年度要支援平均 1.4 人

要介護度平均 69.0 人

# 平成29年度 障害者支援施設梶原みどりの家 事業報告

今年度の利用状況は、年度当初の入所者数 75 名でスタートし、入所者は 4 名あり、病院・在宅生活から入所となった。退所者は 6 名あり、施設での看取りで亡くなられた 3 名、入院中に亡くなられた 2 名、利用サービス変更の 1 名となった。

短期入所では、本入所者の確保に向け身体障害者及び事前の情報や面接を行った上で利用可能と判断した知的・精神障害のある重複障害者の受け入れをし、全 11 名の利用となった。この結果、定期的な利用やロングショート利用となり、前年度を超える実績になったが、残念ながら本入所者の確保と念願の満床には及びませんでした。今後も受け入れ体制の整備や援助技術の向上等を図り、安定した施設運営を目指し取り組んで参ります。

サービス提供状況は、全利用者の平均年齢が 61 歳を超える中で、高齢化・重度化により介護量は増えている。また、継続的な治療や専門医療が必要な利用者の増加に対し、梶原病院の協力のほか、嘱託医師の指示に基づく町外の専門医受診の支援も増えている中で適切に行った。

利用者が施設生活を送る上で求める趣味嗜好に関する対応や支援、金銭の収支・買物といった生活ニーズのほか、自費による個人外出の回数も年々増えており、利用者の自己決定や主体性、自分らしく生きることの大切さ、一方では施設サービスによる対応・支援の限界も考えさせられた一年であった。

専門性の向上では、昨年度から実施している個別支援計画に係る評価及び現状課題等の整理を含めた一定のルールや様式の変更により、確実に長期・短期目標への本人の主体性の反映や支援・援助内容がより具体的になるなど、サービスを利用する側と提供する側の双方にとって分かり易くなった点や、整理内容や評価結果が次期計画にも生かせるようになってきている。

職員の確保では、定年退職者・依願退職者・休職者があつた中で、介護員補充のため 2 名を雇用し、現在では変則勤務及び夜間業務を遂行できるレベルに成長した。また、今年度で定年退職となる介護員 1 名については、嘱託契約により引き続き勤務することになった。

苦情相談（第三者委員）体制では、今年度末で任期満了となる中岡幸恵氏について、引き続き次年度から 2 年間の任期（第 4 期目）で就任していただくこととなった。

今年度の県指導監査は、当施設の実地指導は行われず、去る 3 月 16 日に行われた集団指導に出席した。

平成 30 年 4 月施行の改正障害者総合支援法及び障害福祉サービス等報酬改定では、障害者の地域での生活支援に関する新たな 3 サービスが設けられ、報酬等改定では大きな改定にはならなかったが、最終の改定内容発表が平成 30 年 2 月となることを踏まえ、県への届出や契約更新の書類など遅滞することのないよう準備して来た。

## 1. 施設利用状況（平成 29 年度）

### 1) 利用者状況

在籍者数	性別	前年度末	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数 (月末)	男	45	45	45	43	44	44	43	43	43	44	45	45	44
	女	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29
合計		75	75	75	73	74	74	73	73	73	74	75	75	73
内訳	入所	男				1	1				1	1		
		女												
	計 (4人)					1	1				1	1		
	退所	男			2		1	1						1
		女												1
	計 (6人)				2		1	1						2
増/減 (▲)					▲2	1		▲1			1	1		▲2

### 2) 入退所者の内訳

	入所前 退所後	人数	内 訳
入所者	病 院	3人	岡山リハビリ病院、土佐田村病院、高陵病院
	在 宅	1人	短期入所
	その他	人	
	計	4人	
退所者	病 院	人	
	在 宅	人	
	他施設	人	
	死 亡	5人	看取りケア 3名、病院 2名
	その他	1人	利用サービス変更（短期入所へ）
	計	6人	

## 3) 市町村別利用者数

平成 30 年 3 月 31 日現在

県内	市町村	人数		県外	市町村	人数																	
		男	女			男	女																
高知県	高知市	9	2	愛媛県	宇和島市	3	2																
	香美市	1			西予市	1																	
	香南市		1		今治市		1																
	安芸市	1			愛南町	3	2																
	土佐市	2		愛知県	小牧市		1																
	宿毛市	2	1	京都府	宮津市	1																	
	いの町	2	2	鳥取県	鳥取市	1																	
	佐川町	1		県外計		9	6																
	大月町	1		合計		44	29																
(高幡圏)	須崎市	4	5	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">平均年齢</th> <th>最高齢</th> <th>最年少</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>60 歳</td> <td>84</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>63 歳</td> <td>87</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>61 歳</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				平均年齢		最高齢	最年少	男性	60 歳	84	19	女性	63 歳	87	37	全体	61 歳		
	平均年齢		最高齢					最年少															
	男性	60 歳	84					19															
	女性	63 歳	87					37															
	全体	61 歳																					
四万十町	2	2																					
中土佐町		2																					
津野町	3	2																					
梶原町	7	6																					
県内計		35	23																				

## 4) 生活介護・施設入所支援

単位：利用述べ人数

事業区分	開所日数	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
生活介護	260	0	45	2,555	1,900	4,432	9,844	18,776
施設入所	365	0	61	3,589	2,670	6,208	13,692	26,220

## ◇稼働率

年度	生活介護 (定員 85 人)		施設入所支援 (定員 80 人)	
H29 年度	85.0%	72.2 人/1 日	89.8%	71.8 人/1 日
H28 年度	88.0%	74.9 人/1 日	93.1%	74.5 人/1 日

## 5) 短期入所

区分	開所日数	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
日数	365	0	14	129	87	273	15	518

(高知市・須崎市・津野町・佐川町・梶原町)

◇稼働率

年度	短期入所（定員 8 人）	
H29 年度	17.7%	1.4 人／1 日
H28 年度	13.5%	1.1 人／1 日

6) 日中一時支援事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人 数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
日 数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

7) 入所者状況

◇年齢別構成

19 歳以下	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳
1 人	0 人	0 人	2 人	3 人	3 人
45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上
5 人	9 人	10 人	10 人	11 人	19 人

◇障害別利用状況（重複障害含む）

性別	身体障害	知的障害	精神障害	備 考
男	42 人	6 人	2 人	知的 4 名精神 2 名重複
女	28 人	4 人	4 人	知的 3 名精神 4 名重複

◇障害支援区分別利用者数

障害支援区分	軽度				最重度		計
	1	2	3	4	5	6	
男	0	0	5	6	9	24	44
女	0	0	5	2	7	15	29
計	0	0	10	8	16	39	73
比率 (%)	0%	0%	14%	11%	22%	53%	100.0%
平均障害支援区分							5.2

# 平成 29 年度 カルスト会特定相談支援事業所 事業報告

今年度の計画相談支援サービス契約件数は、新たに 9 件の契約締結（施設入所者）と、5 件の解約（退所者）があり、年度末の契約総件数は 80 件となった。内、14 件は地域でサービスを利用している障害者である。

サービス利用計画の作成実績は前年対比 156%の 42 件、モニタリングの実績は前年対比 96%の 66 件となった。祝祭日を除き毎週木曜日を訪問日とし、事前連絡を入れ居宅への訪問・面会を行い、利用者本人又は家族からサービス利用状況の確認や相談などを聴くことのほか、必要な場合には行政の担当者から情報提供の協力を得た。

国が進める「施設から地域へ」の施策に関し、施設入所者の地域生活移行については、個人・家庭の事情や介護者の高齢化の問題、地域資源・生活環境の更なる整備・充実や、必要とされる各種サービスの充足的課題があり、難しい状況に変わりはない。

平成 30 年 4 月から施行される法改正及び報酬改定に関しては、年度の早い時期から情報収集や県・市町村への相談などを積極的に行い、回答を得るなどした点については、次年度に向けて契約書及び資料の準備・作成を行った。

今後においても、継続的なサービス利用と安定した日常生活につなげる為に、事業者及び関係機関との調整・情報収集や連携を大切に取り組んでいきたい。

## 1. 利用契約・サービス利用計画・モニタリングの実績

◇相談支援契約（前年度末：76 件）

	契 約		サービス利用計画			モニタリング			訪問件数
	新規	解約	入所者	地域	計	入所者	地域	計	
H29 4 月	0	0	15	0	15	2	5	7	20
5 月	4	0	6	0	6	1	5	6	13
6 月	1	▲2	4	0	4	0	1	1	16
7 月	1	0	11	0	11	4	1	5	9
8 月	1	0	2	0	2	2	0	2	7
9 月	0	▲1	1	0	1	4	0	4	7
10 月	0	0	1	0	1	7	5	12	19
11 月	0	0	0	0	0	2	5	7	15
12 月	0	0	0	0	0	7	1	8	10
H30 1 月	1	0	0	0	0	1	1	2	5
2 月	1	0	1	0	1	1	0	1	10
3 月	0	▲2	1	0	1	10	1	11	15
合計	9	▲5	42	0	42	41	25	66	146
契約 件数	80		施設入所：66 件 地 域：14 件（就労継続支援 B 型、グループホーム、居宅介護）						

## 2. 業務活動等

日付	内容	開催地
平成 29 年 6 月 21 日	障害者相談支援体制連絡会（第 1 回）	須崎市
平成 29 年 9 月 22 日	障害者相談支援体制連絡会（第 2 回）	須崎市
平成 29 年 11 月 8 日	高幡ブロック精神障害者家族会研修会	梶原町
平成 29 年 11 月 30 日	梶原町障害福祉計画作業部会（第 1 回）	梶原町
平成 29 年 12 月 14 日	梶原町障害福祉計画作業部会（第 2 回）	梶原町
平成 30 年 1 月 18 日	梶原町障害福祉計画作業部会（第 3 回）	梶原町
平成 30 年 2 月 15 日	梶原町障害福祉計画作業部会（第 4 回）	梶原町

# 平成 29 年度 特別養護老人ホーム梶原ふじの家 事業報告

介護報酬では特養、短期入所事業ともに当初の見込みを上回り、介護職員処遇改善加算の改定で夜勤手当、処遇改善手当の増額を行うなど、職員処遇の向上を図った。

入所においては、昨年同様申込者の減少で毎月開催している定例の検討委員会までに臨時の検討委員会を3回行った。

本年度は新館の屋根に太陽光を設置し、空調、給湯設備の改修工事を行い、照明器具をLEDに交換するなど大規模修繕を行った。利用者には長時間の停電や、騒音等でご迷惑をかけたが、体調を崩すことなく過ごしていただき、無事に完成の運びとなった。完成後は新館の室内エアコンを一括で設定管理することが出来、何より旧館の廊下、居室等施設全体が明るくなり、省エネにも繋がり快適に過ごすことが出来るようになった。今後も利用者に快適に過ごして頂けるよう居室管理の徹底を図り、環境にやさしい施設づくりと節約に努めていきたい。

社会福祉充実計画にて、電動ベッド44台、超低床ベッド4台を購入し全てのベッドが電動となった。今後は利用者の移乗に積極的に福祉用具を活用し、利用者サービスの向上と職員の腰痛予防の軽減を図り、統一したケアの充実に取り組んでいきたい。

今年度は22名の方が退所をされた。2名の方は病院での治療を希望されての退所だったが、15名が梶原病院、4名が施設での看取りとなり退所となった。1名の方は平成27年4月以降に入所された方で、介護認定更新において「要介護度3」から「要介護度2」となり退所を余儀なくされたが、自宅に帰られた後、区分変更申請をして2か月後に「要介護度3」となり再び申込みを行い入所されることになり、ご家族にとっても心労が増え負担となり、施設職員も本人とご家族の気持ちを考えるとやりきれない気持ちになった。

風邪症状の利用者は数名いたが感染拡大防止のため、施設行事の中止や居室対応を行い、インフルエンザの発症者が一人も出ることなく一年が過ぎたことは、感染委員を始め職員一人一人の衛生管理の徹底と環境整備の取り組みの結果である。今後ご家族や面会者の方々のご協力を得ながら感染防止に努めていきたい。

本年度も輪の会、よつば会、茶道クラブの方々など多くのボランティアの皆様に訪問していただいた。地域の方々との交流では昔話に花が咲き、笑顔があふれ楽しい時間となっている。毎月1回行われている誕生会では延79名のご家族の方に参加いただきお祝いすることが出来た。誕生日をご家族と共に迎えることが出来、利用者、職員からのお祝いに素晴らしい笑顔を見せていただいている。本年度も多くの皆さまにご支援・ご協力いただき無事に一年が過ぎたことに心から感謝している。

# 1. 利用者生活状況

## 1) 市町村別入退所状況・年度末入所者数（人）

市町村		梶原町	高知市	須崎市	津野町	中土佐町	計
		梶原町	高知市	須崎市	津野町	中土佐町	
入所	男	4					4
	女	13	1			1	15
	計	17	1			1	19
退所	男	8					8
	女	14					14
	計	22					22
3月末人員	男	13		2	0		15
	女	55	2	0	4	1	62
	計	68	2	2	4	1	77

## 2) 介護度別一覧（人）

要介護度 2	要介護度 3	要介護度 4	要介護度 5
1	24	25	27

平均介護度 4.01

## 3) 入院・外泊等状況

(請求ベース)

延日数	月平均	1日当り
1,075 日	89.6 日	2.9 人

## 4) 入退所状況（人）

入所	自宅より	8	
	病院より	10	梶原(5)・ちひろ(2)・土佐市民(1)・朝倉(1)・大西(1)
	他施設より	1	四万十ピア(ケアハウス)
	計	19	
退所	死亡	19	施設4(内看取り4名)・梶原病院15名
	その他	3	入院継続(2)・自宅へ(1)
	計	22	

## 5) 男女別年齢構成

以上 未満	63 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80 ～ 84 歳	85 ～ 89 歳	90 ～ 99 歳	100 歳 以上	合計 (人)	構成比 (%)	最高 (歳)	最少 (歳)	平均 (歳)
男	2	1	3	3	4	2	0	15	19.5	96	63	81
女	0	1	2	13	19	25	2	62	80.5	105	71	89
計	2	2	5	16	23	27	2	77	100			88

## 6) 短期入所利用状況 (1日平均7.6人) ※延日数保険外利用含む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
実人員	20	21	23	22	20	25	25	34	22	23	22	28	285
(内予防)	(1)	(0)	(1)	(1)	(0)	(1)	(1)	(1)	(0)	(1)	(1)	(1)	(9)
(保険外)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)	(2)	(1)	(2)	(7)
延日数	173	163	243	202	203	218	212	284	263	229	197	378	2,765

平成28年度 平均7.4人 年間2,713人

# 平成29年度 デイサービス梶原ふじの家 業 務 報 告

デイサービス事業は昭和61年に梶原町と事業運営委託契約を締結し、昭和62年より事業を行なってきた。

建物が老朽化したまた要介護状態の利用者には不便をきたす事も多く、法人内で平成23年頃より改築等について検討を始め、梶原町とも協議を重ねた結果、町が複合福祉施設内に通所事業の施設を開設する事となり、平成29年度で当法人の通所事業は廃止とし、利用者サービスは最後の年となった。

このことにより、年末頃より慌ただしく移行に関する周知文書の配布の準備や、梶原町が行う複合福祉施設の説明会にも同席するなど、細かな対応を行い、利用者及び家族等の不安の解消に努めた。

また、新しい施設の管理者として、指定を受けた梶原町社会福祉協議会から、職員を受け入れ、利用者のスムーズな移行ができるよう研修を行った。

今年度の利用者支援においては、全国的なインフルエンザの流行により、4月には利用者並びに職員の発症者が多く、蔓延防止のため止む無く5日間休業することとなり、利用者、家族の皆さんにご迷惑を掛ける結果となった。

2月にもインフルエンザは流行し、入院される方が多く、また度重なる積雪の影響もあり平均利用者数が10人に満たない月となったが、通年では当初見込の予定者数4,200人に達することができた。

健康チェックや入浴支援などはもとより、利用者と共にを行う創作活動では、「今度は何を作る？」と楽しみにされ、作製した物を自宅へ持ち帰り、作品を通して家族との会話が増えるなど、家族から喜びの声が届く事もあった。

創作中は、利用者が互いにコミュニケーションを図り、工夫しながら細かな作業をする事で、機能訓練や認知症予防などにも役立てることができ、その利用者の様子や家族等からの喜びの声は職員のやりがいにも繋がった。

現在この事業所で勤務する正職員3名、臨時職員4名の職員については、うち1名が依願退職したが、それぞれ法人内の事業所で継続して勤務する事となった。

当法人が通所事業に関わらせていただいた間には、平成12年度から介護保険制度が導入され、利用者との契約や、利用対象者、サービス内容の変化等、従来の「老人の憩いの場」ではなくなり、利用者、事業者共に戸惑う事が多かったが、31年の長きにわたり大過なく利用者サービスを提供できたことは、利用者並びに家族そして地域の皆様のご理解やご支援のお蔭と感謝致します。

(1) 月別利用数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
稼働日数	20	27	26	26	26	26	26	26	24	24	21	27	299	
通所型サービス	総合事業対象者	6	8	8	9	10	10	10	11	10	9	8	8	
	延回数	17	31	25	32	32	33	29	41	31	27	22	32	352
	支援1	3	2	2	3	1	0	0	0	2	1	0	3	
	延回数	6	6	9	12	2	0	0	0	6	3	0	13	57
	支援2	7	6	6	6	7	7	6	7	8	6	7	7	
	延回数	29	38	31	40	42	31	31	35	40	21	22	39	399
通所介護	介護1	12	12	14	14	15	18	17	18	16	13	11	8	
	延回数	42	76	75	71	72	79	86	84	71	65	52	47	820
	介護2	22	23	18	18	20	18	16	17	16	12	10	15	
	延回数	115	156	126	133	119	118	112	91	92	58	42	86	1,248
	介護3	12	11	12	14	14	13	15	13	12	10	10	9	
	延回数	69	94	92	95	105	97	97	87	71	56	50	75	988
	介護4	4	3	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3	
	延回数	12	21	19	21	18	16	18	15	15	17	18	21	211
	介護5	1	3	4	3	4	4	4	3	2	2	1	2	
	延回数	4	18	16	15	17	24	24	18	9	7	3	11	166
総利用数	294	440	393	419	404	398	397	371	335	254	209	324	4,241	
一日平均	14.7	16.3	15.1	16.1	15.5	15.3	15.2	14.2	13.9	10.5	9.9	12.0	14.1	

稼働率 56.7% (利用定員 25 人)

前年度 (稼働日数 308 日 総利用者数 4,435 名 稼働率 57.6% 1 日平均 14.4 人)

(2) 地区別利用者数比較 (29 年 3 月と 30 年 3 月の利用状況)

年	四万川区		西区		越知面区		東区		松原区		初瀬区		計	
	29	30	29	30	29	30	29	30	29	30	29	30	29	30
男	5	5	5	6	3	1	10	9	2	0	1	1	26	22
女	6	7	10	6	7	3	12	8	2	4	3	5	40	33
計	11	12	15	12	10	4	22	17	4	4	4	6	66	55